

大学コンソーシアムせと 図書館連携プロジェクト 「ビブリオバトル 2022」開催

2022年10月31日に大学コンソーシアムせと 図書館連携プロジェクト「ビブリオバトル 2022」が開催されました。

瀬戸市在住の高校生6名がおすすめ本を紹介し、会場の参観者が一番読みたいと思った本に投票して、チャンプ本を決定しました。今年は瀬戸市出身の作家、青山美智子さんが特別審査員として参加され、トークショーも行われました。


当日参観された方々には、プロジェクト加盟大学の学生運営委員が作成した、パンフレットとブックカバーがプレゼントされました。

本学からは、人間科学部多元心理学科1年太田百香さんと、薬学部薬学科1年林友莉菜さんが、運営委員としてパンフレット作成や当日の進行を務め、コメントを寄せてくれました。



学生運営委員作成のパンフレット

※当日の様子は瀬戸市立図書館 HP より YouTube でご覧いただけます
URL: <http://www.lib.seto.aichi.jp/news/-2022youtube.html>
(2023年3月31日まで)

公式 Twitter は
こちら→ 
(2023年2月28日まで)

太田百香さん

瀬戸市立図書館の職員さん、各大学の図書館の職員さんや学生の皆さんとともに今回のビブリオバトルを実施することができました。金城学院大学の司書さんとそのご家族やリリアンの先輩も、ビブリオバトルを見に来てくださり、とても心強かったです。

コロナ禍の影響もあってなかなかみんなで集まることができなかつたため、LINE で当日の役割分担を決め、当日初めて全員で顔を合わせました。当日は予想外のハプニングがありましたが、みんなで協力して終えることができました。私は受付の係をしました。先輩が助けてくださり、スムーズに仕事ことができました。私なりにビブリオバトルに貢献でき、うれしかったです。いろいろな組織から集まった多くの人でチームを作って動くという経験をしたのは初めてで、とても良い経験と思い出になりました。来年度以降のビブリオバトルの盛会を期待しています。

林友莉菜さん

学生運営委員として、今回のビブリオバトルに関われてよかったです。本当に貴重な体験をさせていただきました。日程の都合で打ち合わせできた時間は限られていましたが、それでも当日のビブリオバトルはとてもよいものとなったと思います。事前の念入りなリハーサルのおかげでスムーズな進行を行えました。

また、学生運営委員会で用意した参加賞が高校生の方々からとても好評だったのでとてもうれしく思いました。高校生たちのおすすめの本に対する熱い思いが聞けて楽しかったです。運営側としてやり残したことはあったので少し惜しい気持ちはありますが、それでもこのような素敵な企画になってよかったなと思います。楽しく貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。